



スノーボーダー

津山工業高等専門学校2年生

山本 隼也さん (院庄)

スノーボードに親しむ両親の影響で、4歳からスノーボードを始める。今年2月に北海道で開催された滑走技術を競う第24回JSBA全日本スノーボードテクニカル選手権大会(アルパイン男子)では、数多くのプロ選手が出場する中、大会史上最年少で3位入賞、3月に岐阜県で開催された滑走スピードを競う第35回JSBA全日本選手権大会(一般男子)でも3位入賞を果たした。



①表彰台に立つ山本さん(右から3番目)



②大会で滑走する山本さん

写真①②(提供:日本スノーボード協会)



スノーボードの魅力は?

雪上を滑走するスピード感と遠心力(ターン時に体に掛かる重力)を感じられることが魅力です。遠心力を効率良くボードへ伝えて推進力に変え、スピードにつなげられるよう練習しています。わたしは西日本のゲレンデを中心に練習しています。雪量・雪質に恵まれない年が多いので、滑りに集中して滑走日数の少なさを補いながら、さまざまな雪質に対応することで、滑走技術が向上していると感じています。

大会で意識したことは?

昨年は5位に入賞したものの、スタート前で緊張して自分の力を発揮できませんでした。今年は、滑走までの待機時間に、自分の滑走に集中できるよう気持ちを整理し、落ち着かせました。その結果、全国大会の一般の部で、初めて表彰台に立つことができました。特に全日本選手権大会では、練習する環境が近くに無かったため、ほとんどぶっつけ本番で臨みましたが、結果が出て、とてもうれしかったです。

今後の目標は?

今回の成績により、プロスノーボーダーの認定資格を得られます。将来は、滑走技術やスピード競技でもトップレベルで活躍したいです。また、今後は学校で専門的な学びを深めながら、スノーボードの道具などの開発や製作にも携わりたいという二つの夢の実現に向かって頑張りたいです。わたしが活躍することで、津山に住む皆さんにスノーボードのことをもっと知ってもらい、競技人口を増やしたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。

深夜、車で帰宅中、タヌキが飛び出して来て、車の前を横切りました。次に、小鹿が道路の中央に立っていたので避けて通りました。しばらく行くと、4〜5頭の大きな鹿と遭遇しました。出て来る動物がだんだん大きくなって…。次はイノシシか!?。ふっ、何事もなく家に到着できて一安心。(笑)

雨
ジトレーニングは完璧だ。(雨)

梅まつりの取材に行く毎恒例、梅の種飛ばし大会が行われていました。決定的瞬間をカメラに納めようとシャッターチャンスを狙いました。種が遠くに飛んでも飛ばなくてもみんな良い表情でした。みんな楽しそうだったので来年は出場してみようかな。(雨)

梅まつりの取材に行く毎恒例、梅の種飛ばし大会が行われていました。決定的瞬間をカメラに納めようとシャッターチャンスを狙いました。種が遠くに飛んでも飛ばなくてもみんな良い表情でした。みんな楽しそうだったので来年は出場してみようかな。(雨)



今月の特集で民生児童委員さんの活動を取材しました。子育てや介護、独居や家庭問題など、社会で起こるさまざまな問題に直面し、最前線での解決にあたっていることが分かりました。創設から今年で100周年を迎える民生委員制度。多くの人にこの素晴らしい仕組みが伝わってほしいです。(W)